

平成30年度 事業報告

1 概況

我が国の平成30年度の経済は、前年度に引続き緩やかな回復傾向で推移し、経済の好循環は着実に回りつつあるとの政府見解が示されている。

ただし、全国的に相次いだ自然災害により、個人消費や輸出を中心に経済は一時的に押し下げられました。呉地域においても豪雨災害による影響は雇用環境を含め大きなものがありました。

また、全国的に少子高齢化が進み、その対策が喫緊の課題となっています。

呉市も高齢化率が34%を超えており、政府の方針にもある通り高齢者世代を活用する施策の強力な展開が望まれます。

このような中で呉市のシルバー事業は災害の影響もあり、会員数、契約金額等いずれも前年度を上回ることが出来ませんでした。会員数の動向につきましては、企業の定年延長や再雇用制度の整備浸透の影響がありますが、多少は落ち着いて来たものと思われまます。

今後ますます進行する超高齢化社会における社会的需要に応じて行くためシルバー事業の強化・充実に向けて、体制の整備とともに営業・企画力の底上げを図る必要があります。

なお、平成30年度の事業実績は下記のとおりです。

以下、主要事項について報告します。

年 度 区 分	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
受託 件数	件 5,766	件 5,648	件 5,463	件 5,547	件 5,235
会員数	人 758	人 726	人 672	人 688	人 662
就業 実人員	人 615	人 578	人 553	人 544	人 525
就業 延人日	人日 71,435	人日 65,027	人日 62,499	人日 62,505	人日 59,905
契約 金額	千円 332,024	千円 314,522	千円 309,371	千円 313,566	千円 304,912

1 会員の拡充

会員の拡充はシルバーの大きな課題の一つであり、減り続けている会員数に歯止めをかけるため、各種講習会の実施をはじめ広報、街頭キャンペーンによる啓発活動を推進し会員の勧誘に努めました。

30年度は、市役所本庁舎1階ロビーほか各市民センターフロアへ「シルバー広報チラシ」を配置し、市民の方への広報に努めました。

この1年間の入会者は102人、退会者は128人で、年度末の会員数は662人で26人減少しております。(該当する事業1-1・4-5)

2 就業開拓及び就業率の向上

就業開拓は、会員の拡充とともにセンターの維持発展のための大きな柱です。職員が事業所を訪問し、仕事の依頼を行いました。また、就業率の向上については、就業に必要な知識、技能を習得するための各種講習会を開催し、幅広い職種を選べるよう就業機会の拡大に努めました。

就業率は、79.3%で昨年度より0.2ポイント増加となっております。(該当する事業1-1)

3 独自事業の推進・開拓

独自事業として、「再生自転車の販売」事業を継続し、住民の方の要望に応えるとともに、資源の再利用に努めました。

再生自転車事業の売上高は42台で278,100円になっております。これは呉ポートピアが災害対策の拠点となり一般市民の来場が制限されたことにより前年に比べると減少したものです。

また、新たな事業の開拓について研究・検討を行いました。(該当する事業1-1)

4 安全就業・適正就業の推進

安全就業は、シルバー人材センターにとって最も優先する課題です。

30年度も安全管理委員会を開催し、意見交換を行う計画でしたが、災害のため実施できませんでした。また安全管理委員、安全推進委員等による就業現場への安全パトロールや各職群別に安全就業講習会を実施し、会員の安全就業に対する意識の高揚を図り、重篤事故等の防止に取り組みました。

交通安全については例年、呉警察署交通課職員を講師に招き、「高齢者の交通安全」と題する交通安全講習会を実施していましたが、災害のため中止となりました。

また、会員の事故防止を啓発するため、安全標語の募集やヒヤリハットの体

験調査を実施しました。

本年度の事故状況は、傷害事故 5 件、損害事故 12 件発生しました。前年度に比べ 9 件減少しております。

今後、安全就業について、より一層取り組みを強化し、事故防止に努力します。

適正就業については、法令遵守の徹底とともに、ローテーション就業の促進、長期継続就業の解消に努め、就業の適正化を図ります。(該当する事業 4—(2))

5 研修会・講習会の開催

シルバー会員の仕事に対する地域社会の信頼確保には、知識、技能の習得と向上は欠かすことの出来ない要件です。

会員の技能習得と新規会員の勧誘を目的に、「草刈機取扱い講習会」、「剪定講習会」を例年開催していますが「剪定講習会」は災害のため開催できませんでした。「市政だより」で募集した受講生にはシルバー加入を勧めました。

会員の技能向上のため、パソコン指導者養成講座、剪定会員のスキルアップ講習会を実施しました。

また広島県シルバー人材センター連合会主催の高齢者活躍人材育成事業による技能講習会に会員が参加しました。(該当する事業 3)

6 一般労働者派遣事業の推進

シルバー事業の「臨時、短期、軽易」な仕事という基本に立ち返り、受託事業の自主点検による適正就業を遵守するとともに、業務の拡大に努めました。(該当する事業 2—(2))

7 福祉・家事援助サービスの推進

一人暮らしや、高齢者世帯が年々増加し、また、女性の就労促進が課題となっている現在、福祉、家事援助サービス及び子育て支援等の業務の拡大や、それらに習熟した女性会員の拡充が重要です。

本年度は前年度に引続き、市が主催する「呉市生活支援・介護予防サービス体制整備推進協議体」に参加しました。(該当する事業 1—1・4—(3)(4))

8 普及啓発活動の推進

毎年 10 月の「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」に合わせて、呉駅前周辺、ゆめタウン前において街頭キャンペーンを実施し、チラシ、パンフレット等を配り普及啓発活動を行いました。(該当する事業 4—(1)(6))

また、呉市の広報誌「市政だよりくれ」への記事掲載、シルバーの広報誌「呉シルバーだより」の発行などにより広報活動に努めました。

9月には海軍戦没者慰霊祭に向けての呉海軍墓地剪定奉仕活動を行い、シルバー事業の普及啓発活動に努めました。

付属明細書

平成30年度事業報告においては、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条に定める「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。